

第6学年体育科学習指導案

6年2組 指導者 紀村修一

単元 いいね、その技②（跳び箱運動）

資質・能力
①活用できる知識・技能
②自ら問題を見付ける力・解決する力
③根拠をもとに筋道を立てて考える力
④自分や仲間の考えを問い直す力
⑤様々な角度から自分の考えを創り出す力
⑥自分の思いや考えを分かりやすく伝える力
⑦自分から学びに向かおうとする力
⑧仲間の考えを聞きとめる力
⑨困ったときに援助を求める力
⑩自分の学びを見つめ直す力
⑪人間性（感性、達成感など）に関すること

1 単元について

本学級の子どもたちは、これまでに、マット運動において、仲間と共にいろいろな技に挑戦する楽しさや喜びを味わった。また、組み合わせ技を安定して行うためには、技と技の「つなぎ」を工夫することの必要性に気付くこともできた。このような子どもたちが、マット運動で学習したことを生かしながら、仲間と共に課題解決の糸口を見出し、繰り返し跳び箱運動に取り組んでいく。このことは、跳び箱運動の楽しさや喜びにふれるだけでなく、今後、様々な運動場面で、課題を見付け、その解決に向けて学ぶことにつながると考える。

本単元は、基本的な支持跳び越し技を安定して行ったり、その発展技を行ったりする学習である。まず、子どもたちは、技の美しさについて知り、学習の見通しをもつ。そして、自分の課題を解決するために、仲間と試行錯誤し、練習方法を工夫する。その後、自分の力に合った技や運動の場を選び、技を安定して行うことができるように繰り返し練習していく。その際、跳び箱運動とマット運動を連続して行う場を設定し、跳び箱運動において雑になりやすい着地を意識することができるようにしたい。そうすることで、美しい着地を行うには、助走から踏み切り、着手の位置や空中姿勢などの一連の動きが重要となることや、美しい着地が技全体の美しさに大きくかかわることに気付かせたい。

そこで、以下の支援を行う。

- 練習方法を工夫し、技が変容した子どもを見取ったとき、価値付けたり、学級全体に紹介したりする。そうすることで、自分の課題に合った練習方法を、進んで選んだり考えたりすることができるようにする。
- 技を行うことに難しさを感じている子どもを見取ったとき、グループの仲間と掲示板の前で気付きを交流したり、技や運動の場、練習方法を見直したりするように促す。そうすることで、仲間と試行錯誤して運動することができるようにする。
- 振り返りで、効果的な練習方法について交流するように促す。そうすることで、課題解決に向けて仲間と共に学ぶことのよさを感じることができるようにする。

2 目標

- 自分の力に合った基本的な支持跳び越し技を安定して行ったり、その発展技を行ったりすることができるようにする。
- 仲間と試行錯誤して技に挑戦したり、美しい動きができるようになったりする楽しさや喜びを膨らませることができるようにする。

3 評価規準

主体的に学習に取り組む態度(態)	思考・判断・表現(思)	知識・技能(知・技)
○技を高める楽しさや喜びにふれるよう、進んで跳び箱運動に取り組んでいる。	○自分の力に合った技や運動の場を選んだり、自分の課題に合った練習方法を工夫したりしている。	○自分の力に合った安定した基本的な支持跳び越し技、及びその発展技を行うことができる。

4 指導計画（全7時間）

1次 学習の見通しをもつ（1時間）

2次 練習方法を工夫し、跳び箱運動をする（5時間）【本時3／5】

3次 発表会をし、学習を振り返る（1時間）

5 本時案 【平成28年12月2日 14:30～15:15 体育館】

- (1) ねらい 自分の力に合った技や運動の場を選び、仲間と共に跳び箱運動をするをとおして、支持跳び越し技を安定して行うことができるようにする。

学習活動／子どもの意識	支援
<p>① 準備運動をし、学習のめあてを確認する (7分)</p> <p>学習内容 ・ 跳び箱運動への取り組み(態)</p>	<p>○着地を意識して練習方法を工夫している子どもを価値付けたり、紹介したりする。そうすることで、課題に合った練習方法を、進んで選んだり考えたりすることができるようにする。</p>
<p>・「感覚タイム」が始まったよ。馬跳びやバランス前転に挑戦だ。</p> <p>・ みんなでしっかり動いたから、体があたたかくなって、汗が出てきたよ。運動前と比べて、心拍数も増えてきたぞ。</p> <p>◇ 跳び箱の後に「前転」をするのだね。今日も着地を意識しよう。</p>	
<p>② 美しい着地を意識して、跳び箱運動に取り組む (30分)</p> <p>学習内容 ・ 技や運動の場の選択(思) ・ 安定した支持跳び越し技(知・技)</p>	<p>○グループの仲間と掲示板の前で、技のポイントについての気付きを交流したり、できた技のポイントにシールを貼ったりするように促す。そうすることで、仲間と試行錯誤して運動することができるようにする。</p>
<p>◇ 僕は、「開脚跳び」をしよう。よし、できた。掲示板の「手は前に着く」にシールを貼ろう。</p> <p>◇ でも、勢いがつき過ぎて、うまく「前転」ができなかったよ。</p> <p>A 僕も、うまく「前転」ができなかったよ。跳び箱の着地で、バランスをくずしてしまうことが問題なのかな。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>どの動きを大切にすると、美しい着地ができると思いますか。</p> </div>  <p>・ 「着地の直前に、体を起こす」と掲示板に書いているよ。</p> <p>・ バランスよく空中姿勢を保つことが大切だと思うよ。</p> <p>B やっぱり、踏み切りが大切だと思うよ。ということは、その前の助走も大切になるということだね。</p> <p>◇ 着地のとき「ピタッ」と声を出してやってみよう。止まれたぞ。</p> <p>A それ、いいね。僕もやってみよう。手を着かずに美しい着地ができたよ。</p> <p>B 踏み切る位置にケンステップを置く方法もあるね。</p> <p>◇ やってみよう。本当だ。よい練習方法だね。</p> <p>・ 跳び箱を跳ぶ前に掲示板を見ると、技のポイントが意識できるからいいね。できた技のポイントにシールを貼ろう。</p> <p>◇ A君が、着地が美しくなったと言ってくれたよ。うれしいな。何だか「開脚跳び」全体が美しくなった気がするよ。</p>	
<p>③ 学習を振り返る (8分)</p> <p>学習内容 ・ 技を高める楽しさや喜び(態) ・ 練習方法の工夫(思)</p>	<p>○振り返りでは、効果的な練習方法について交流するように促す。そうすることで、課題解決に向けて仲間と共に学ぶことができるようにする。</p>
<p>A ◇君のアドバイスのおかげで、美しい着地ができたよ。</p> <p>・ 美しい着地ができると、技全体が美しくなるのだね。次の時間も着地に気を付けて、仲間といろいろな技に挑戦したいな。</p>	

6 板書計画

12/2 いいね、その技②

助走
踏み切り
着手
着地

跳び箱を美しく跳ぼう!

跳び箱技 → 前転

- ・ 開脚跳び
- ・ 台上前転

技に取り
組んでいる
子どもの
写真

練習方法
を工夫する
子どもの
写真

〈効果的な練習方法〉

- ・ 「ピタッ」という声
- ・ ケンステップ(目印)

※左の板書の他に、技の名称や一連の動きを示した掲示板を提示する予定。